

3 市・町村部別、支庁別、地域生活経済圏別の事業所数及び従業者数

(1) 市・町村部別

市・町村部別に事業所数をみると、札幌市が7万4,191事業所（構成比29.5%）で全道の3割近くを占めており、市部（以下、札幌市を除く）では11万9,387事業所（同47.4%）、町村部では5万8,305事業所（同23.1%）となっている。

事業所数を前回調査と比較すると、札幌市が3千414事業所（増減率4.4%）の減、市部が1万2,095事業所（同9.2%）の減、町村部が3千112事業所（同5.1%）の減となっており、いずれも減少している。

従業者数をみると、札幌市が84万151人（構成比34.8%）で全道の3割以上を占めており、市部では112万5,978人（同46.6%）、町村部では44万8,840人（同18.6%）となっている。

従業者数を前回調査と比較すると、札幌市が2万357人（増減率2.4%）の減、市部が10万5,409人（同8.6%）の減、町村部が4万4,626人（同9.0%）の減となっており、いずれも減少している。

表3 - 1 市・町村部別事業所数及び従業者数

（単位：事業所、人、%）

区分	事業所数					
	平成18年	構成比	平成13年	構成比	増減数	増減率
総数	251 883	100.0	270 504	100.0	18 621	6.9
札幌市	74 191	29.5	77 605	28.7	3 414	4.4
市部(札幌市を除く)	119 387	47.4	131 482	48.6	12 095	9.2
町村部	58 305	23.1	61 417	22.7	3 112	5.1

区分	従業者数					
	平成18年	構成比	平成13年	構成比	増減数	増減率
総数	2 414 969	100.0	2 585 361	100.0	170 392	6.6
札幌市	840 151	34.8	860 508	33.3	20 357	2.4
市部(札幌市を除く)	1 125 978	46.6	1 231 387	47.6	105 409	8.6
町村部	448 840	18.6	493 466	19.1	44 626	9.0

(2) 支庁別

支庁別に事業所数をみると、札幌市を含む石狩支庁が8万6,877事業所(構成比34.5%)で最も多く、次いで上川支庁2万4,875事業所(同9.9%)、渡島支庁2万1,893事業所(同8.7%)となっている。

事業所数を前回調査と比較すると、全支庁で減少しており、増減率の大きい順から、釧路支庁が12.5%の減、日高支庁が9.6%の減、渡島支庁が9.5%の減などとなっている。

従業者数をみると、札幌市を含む石狩支庁が99万9,243人(構成比41.4%)で最も多く、次いで上川支庁が22万8,702人(同9.5%)、胆振支庁が19万4,855人(同8.1%)となっている。

従業者数においても、前回調査に比べ、全支庁で減少しており、増減率の大きい順から、檜山支庁が18.7%の減、宗谷支庁が12.8%の減、留萌支庁が11.5%の減などとなっている。

表3-2 支庁別事業所数及び従業者数

(単位：事業所、人、%)

区分	事業所数					
	平成18年		平成13年		増減数	増減率
		構成比		構成比		
総数	251 883	100.0	270 504	43.5	18 621	6.9
石狩支庁	86 877	34.5	90 501	33.5	3 624	4.0
渡島支庁	21 893	8.7	24 188	8.9	2 295	9.5
檜山支庁	2 646	1.1	2 922	1.1	276	9.4
後志支庁	13 072	5.2	14 263	5.3	1 191	8.4
空知支庁	16 271	6.5	17 773	6.6	1 502	8.5
上川支庁	24 875	9.9	27 055	10.0	2 180	8.1
留萌支庁	3 781	1.5	4 017	1.5	236	5.9
宗谷支庁	4 464	1.8	4 920	1.8	456	9.3
網走支庁	16 521	6.6	17 474	6.5	953	5.5
胆振支庁	20 498	8.1	22 572	8.3	2 074	9.2
日高支庁	4 850	1.9	5 366	2.0	516	9.6
十勝支庁	17 747	7.0	18 824	7.0	1 077	5.7
釧路支庁	13 521	5.4	15 461	5.7	1 940	12.5
根室支庁	4 867	1.9	5 168	1.9	301	5.8

区分	従業者数					
	平成18年		平成13年		増減数	増減率
		構成比		構成比		
総数	2 414 969	100.0	2 585 361	100.0	170 392	6.6
石狩支庁	999 243	41.4	1 022 167	39.5	22 924	2.2
渡島支庁	184 706	7.6	201 049	7.8	16 343	8.1
檜山支庁	17 393	0.7	21 386	0.8	3 993	18.7
後志支庁	104 661	4.3	116 280	4.5	11 619	10.0
空知支庁	139 551	5.8	156 451	6.1	16 900	10.8
上川支庁	228 702	9.5	254 125	9.8	25 423	10.0
留萌支庁	27 286	1.1	30 824	1.2	3 538	11.5
宗谷支庁	35 643	1.5	40 870	1.6	5 227	12.8
網走支庁	140 894	5.8	155 797	6.0	14 903	9.6
胆振支庁	194 855	8.1	210 286	8.1	15 431	7.3
日高支庁	34 725	1.4	38 996	1.5	4 271	11.0
十勝支庁	153 386	6.4	166 857	6.5	13 471	8.1
釧路支庁	115 649	4.8	129 878	5.0	14 229	11.0
根室支庁	38 275	1.6	40 395	1.6	2 120	5.2

(3) 地域生活経済圏別

地域生活経済圏別に構成比を見ると、事業所数では札幌市を含む道央圏が56.2%で最も多く、次いで道北圏が13.1%を占め、従業者数では、道央圏が61%、次いで道北圏が12.1%を占めており、事業所数、従業者数ともに道央圏に集中している。

事業所数を前回調査と比較すると、全圏で減少しており、増減率の大きい順から、釧路・根室圏が10.9%の減、道南圏が9.5%の減、道北圏が8.0%の減などとなっている。

従業者数においても前回調査と比べ、全圏で減少しており、増減率の大きい順から、道北圏が10.5%の減、オホーツク圏及び釧路・根室圏が各9.6%の減、道南圏が9.1%の減などとなっている。

表3-3 地域生活経済圏別事業所数及び従業者数

(単位：事業所、人、%)

区 分	事業所数					
	平成18年	構成比	平成13年	構成比	増減数	増減率
総数	251 883	100.0	270 504	100.0	18 621	6.9
道 南 圏	24 539	9.7	27 110	10.0	2 571	9.5
道 央 圏	141 568	56.2	150 475	55.6	8 907	5.9
道 北 圏	33 120	13.1	35 992	13.3	2 872	8.0
オホーツク圏	16 521	6.6	17 474	6.5	953	5.5
十 勝 圏	17 747	7.0	18 824	7.0	1 077	5.7
釧路・根室圏	18 388	7.3	20 629	7.6	2 241	10.9

区 分	従業者数					
	平成18年	構成比	平成13年	構成比	増減数	増減率
総数	2 414 969	100.1	2 585 361	100.0	170 392	6.6
道 南 圏	202 099	8.4	222 435	8.6	20 336	9.1
道 央 圏	1 473 035	61.0	1 544 180	59.7	71 145	4.6
道 北 圏	291 631	12.1	325 819	12.6	34 188	10.5
オホーツク圏	140 894	5.8	155 797	6.0	14 903	9.6
十 勝 圏	153 386	6.4	166 857	6.5	13 471	8.1
釧路・根室圏	153 924	6.4	170 273	6.6	16 349	9.6

地域生活経済圏

- 道 南 圏 ... 渡島支庁、檜山支庁
- 道 央 圏 ... 石狩支庁、後志支庁、空知支庁、胆振支庁、日高支庁
- 道 北 圏 ... 上川支庁、留萌支庁、宗谷支庁
- オホーツク圏 ... 網走支庁
- 十 勝 圏 ... 十勝支庁
- 釧路・根室圏 ... 釧路支庁、根室支庁